

五輪橋整形外科病院で入院される患者さんへ

入院中の認知機能が身体機能に及ぼす影響に関する研究について

医療機関 医療法人 五輪橋整形外科病院 リハビリテーション科

研究責任者 岸 裕之

研究分担者 舟見 海斗 須田 遥圭

このたび医療法人五輪橋整形外科病院リハビリテーション科では、運動器の病気で入院された患者様に認知機能や身体機能を測定する研究を実施しております。この研究を実施することで患者様には認知機能や特定の身体機能の評価をさせていただきます。また、患者様のプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

本研究への参加を望まれない場合には、担当の者にご連絡ください。

1. 研究の目的および意義

わが国では、高齢者の割合が増加し、それに伴い認知症や軽度認知症（MCI）患者数の増加が問題となっている。そのため認知症発症予防や進行予防、改善の取り組みが重要課題である。現状では、整形外科病棟に入院している高齢者への認知機能トレーニングが、入院期間中の認知機能に及ぼす影響は明らかになっていない。そこで本研究では、後期高齢入院患者を対象とし、①認知機能トレーニングの効果を示す認知症進行段階がどの程度であるかを明らかにすること②認知機能トレーニングは、入院中の歩行能力改善に影響するのかを明らかにすることを目的としている。

本研究を実施することで、認知機能低下に伴う入院治療費の増大を防止できること、患者の自宅復帰率を増加させることができるという点に本研究の意義がある。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2025年4月1日～2028年3月31日の間に医療法人五輪橋整形外科病院に入院となった75歳以上の男女の方が対象となります。また、対象の疾患は大腿骨頸部骨折の術後、大腿骨転子部骨折の術後、脊椎圧迫骨折（保存・術後ともに）が対象疾患となります。

2) 研究実施期間

本研究実施許可日～2028年3月31日

3) 研究方法

入院直後、急性期病棟～回復期病棟への転棟時、退院前の計3回にわたり以下の項目を評価します。

- ① 認知機能
(HDS-R、ストループ課題、数字の逆唱、単語の即時記憶、遅延再生)
- ② 歩行能力
- ③ 荷重量
- ④ バランス機能

4) 使用する情報

◇研究に使用する情報

疾患、手術方法、年齢、性別、体重、上記の評価項目結果など

これらの情報は完全に匿名化した状態で取り扱います。

名前や住所等の情報は本研究では使用いたしません。

3. 情報の保存

測定したデータは研究発表が完了するまで保管します。また保管方法はロックのかけたファイルに保存し、研究関連者のみ閲覧できる状態で保管します。

4. 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。情報の使用を断られても患者様に不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申し出が、すでに解析を開始または結果公表後の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

医療法人五輪橋整形外科病院 リハビリテーション科

研究担当責任者 岸 裕之

連絡先(電話番号) 011-571-2001 (平日9時～17時)

5. 研究組織

医療法人 五輪橋整形外科病院 リハビリテーション科

〒005-0802 札幌市南区川沿2条1丁目2番56号